

薬ができることの、その先へ。



個人投資家向け会社説明会

2023年2月27日

塩野義製薬株式会社 広報部長 兼 秘書室長

京川 吉正



SHIONOGI

【証券コード：4507】

将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

アジェンダ

- 01** SHIONOGIとは？ P. 5
- 02** SHIONOGIのビジネスモデルと強み P. 11
- 03** COVID-19への取り組み P. 17
- 04** 株主還元方針 P. 27

アジェンダ

- 01** SHIONOGIとは？ **P. 5**
- 02 SHIONOGIのビジネスモデルと強み P. 11
- 03 COVID-19への取り組み P. 17
- 04 株主還元方針 P. 27

SHIONOGIといえば・・・

ミュージックフェア



- 1964年8月31日の放送開始から50年以上、SHIONOGIによる一社提供で放送
- 日本の民放音楽番組の中で最長寿

OTC医薬品

セデス・ポポン・リンデロン・パイロンPL・メジコン・シナール...



第2類医薬品



第2類医薬品



指定医薬部外品



第2類医薬品



第2類医薬品



第3類医薬品



医薬部外品



第2類医薬品



第2類医薬品

そして、感染対策に
高機能マスク



会社概要

大阪市に本社を置く創業145年を迎える製薬会社

商号	塩野義製薬株式会社 SHIONOGI & CO., LTD.
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 手代木 功
創業	1878年3月17日
会社設立	1919年6月5日
本社所在地	大阪市中央区道修町
従業員数	連結 5,693名*
業種	医薬品製造販売業
事業内容	医薬品、臨床検査薬・機器などの製造・販売
連結売上高	3,351億円*
営業利益額	1,103億円*



SHIONOGI Group Heritage

**SHIONOGIは、
常に人々の健康を守るために
必要な最もよい“薬（ヘルスケアソリューション）”
を提供する。**

SHIONOGI Group Visionと中期経営計画STS2030

2030年 Vision

新たなプラットフォームで
ヘルスケアの未来を創り出す

SHIONOGIファミリーが一丸となって

- 創造力と専門性の進化でイノベーションを起こし、プラットフォームを協創する核となる
- 革新的な製品を創製し、適正な品質と価格で、正しい情報と共に世の中に届ける
- SDGsの達成に取り組み、誰もが病気や苦しみに困らない日々の実現に貢献する

2030年 Visionを達成するための戦略

STS2030

- Shionogi Transformation Strategy 2030 -
ビジネス変革による新たな成長戦略

i. R&D戦略

革新的パイプラインの開発促進

ii. トップライン戦略

多様なビジネス構築による事業の成長

iii. 経営基盤戦略

新たな価値創造を実現するための基盤づくり

新たなSHIONOGIの方向性 -HaaS企業への変革-

ヘルスケアサービスとしての価値提供（Healthcare as a Service : HaaS）

- 多様なパートナーと協創する事で、新たな付加価値を産み出し、患者さまや社会の困りごとを解決する
- 「医療用医薬品」の創製で培った強みをさらに強化し、その強みを活かして協創の核となる

• AdvanSentinel設立

- 下水モニタリングによる感染状況の調査

• 不眠治療アプリ

- サスメド社と販売提携契約

• ADHD治療アプリ

- Akili社からライセンス契約

• 脳波測定アプリ

- PGV社と資本提携契約

• 「医療用医薬品」の創製

- SHIONOGIがこれまで培ってきた強み領域

• Yui Connection設立

- 児童生徒に適切な教育プランを教員に提案する教育支援サービス

• ワクチン事業への参入

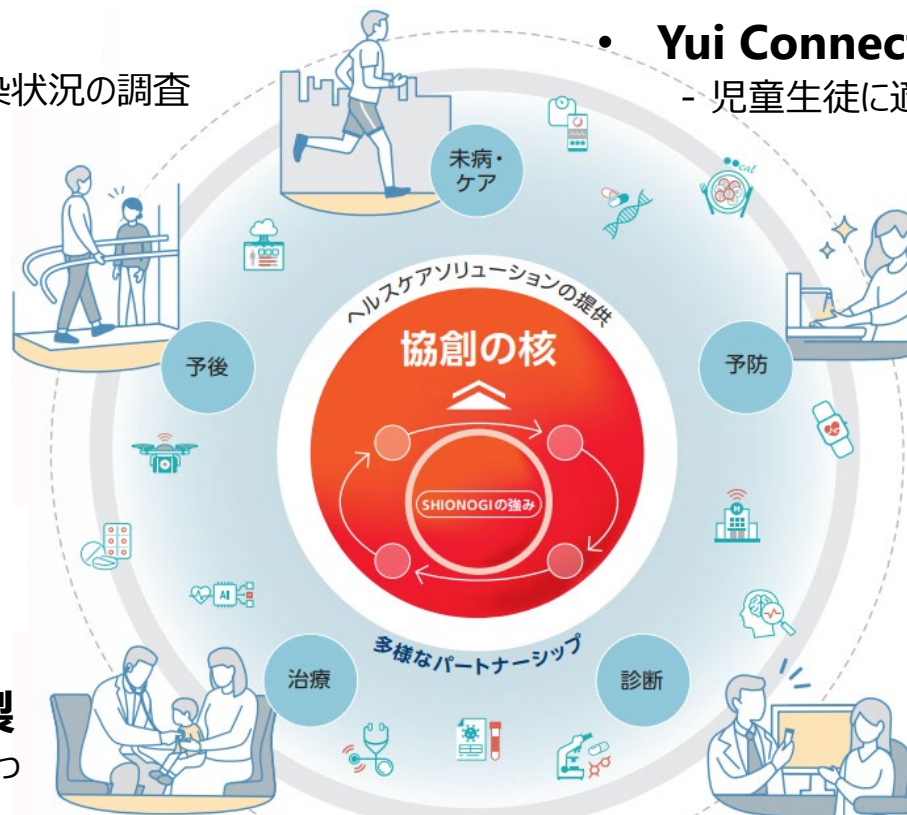
- COVID-19ワクチンの創製

• ストリーム・アイ設立

- デジタル技術と既存のリアルな活動を融合した、新しい情報提供モデルの確立を目指した取り組み

• 診断キット

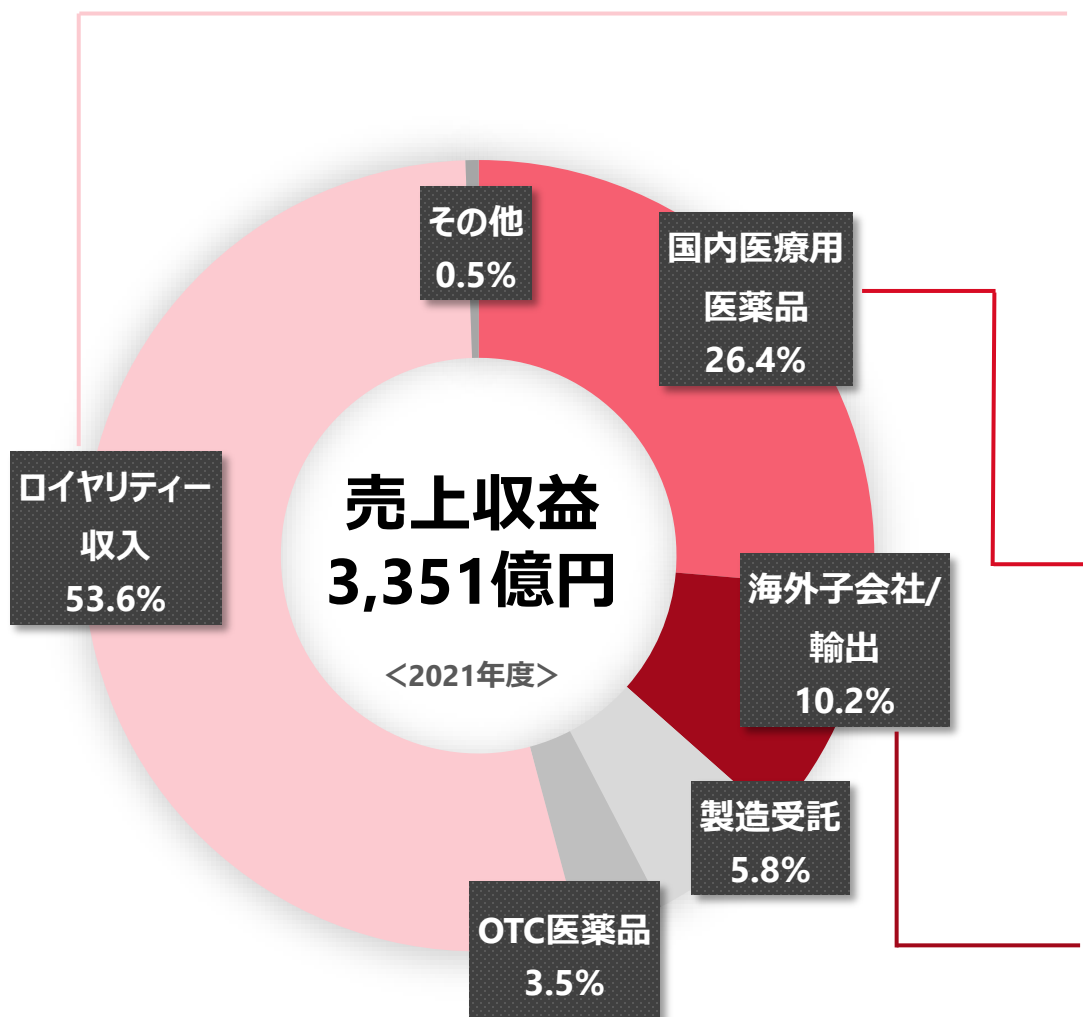
- インフルエンザや新型コロナを診断するキットや機器の開発・販売



アジェンダ

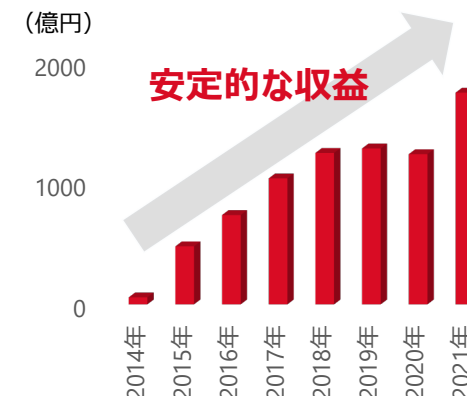
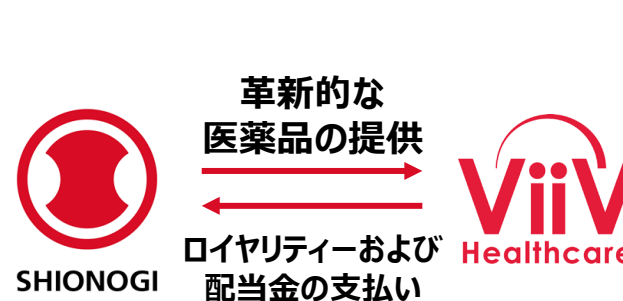
- 01 SHIONOGIとは？ P. 5
- 02 SHIONOGIのビジネスモデルと強み P. 11**
- 03 COVID-19への取り組み P. 17
- 04 株主還元方針 P. 27

2021年度の売上収益とその構成



ロイヤリティー収入

- HIV治療薬を導出し、その対価としてロイヤリティーを受領



国内医療用医薬品

- 感染症と精神・神経・疼痛領域を中心とする医薬品の販売

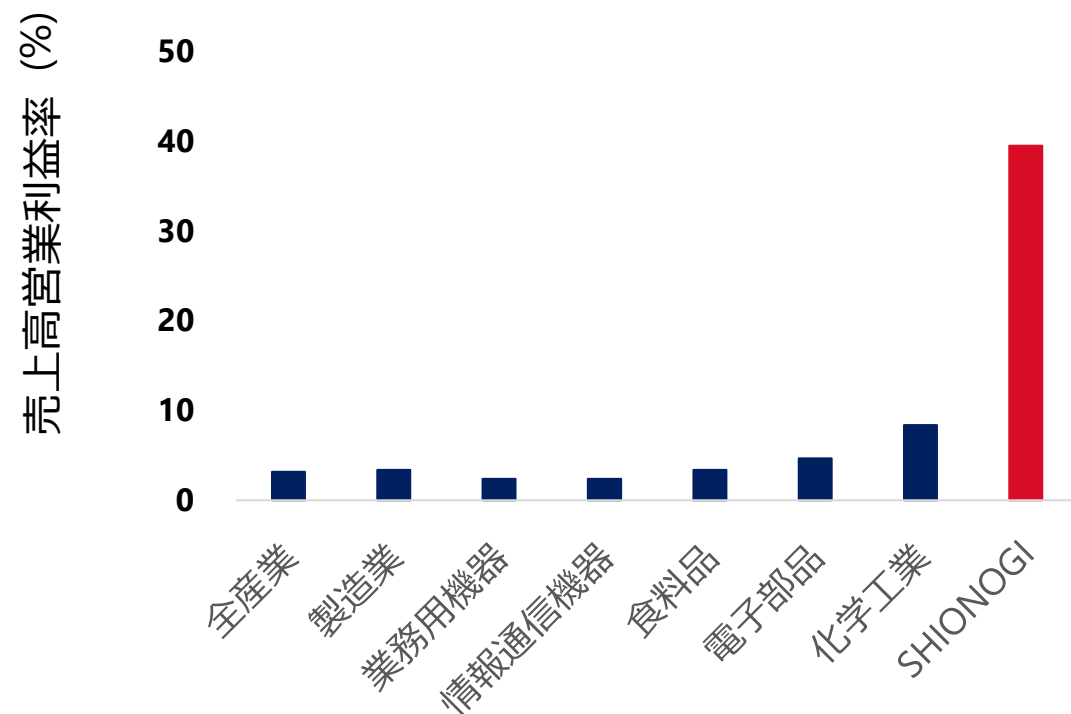


海外子会社/輸出

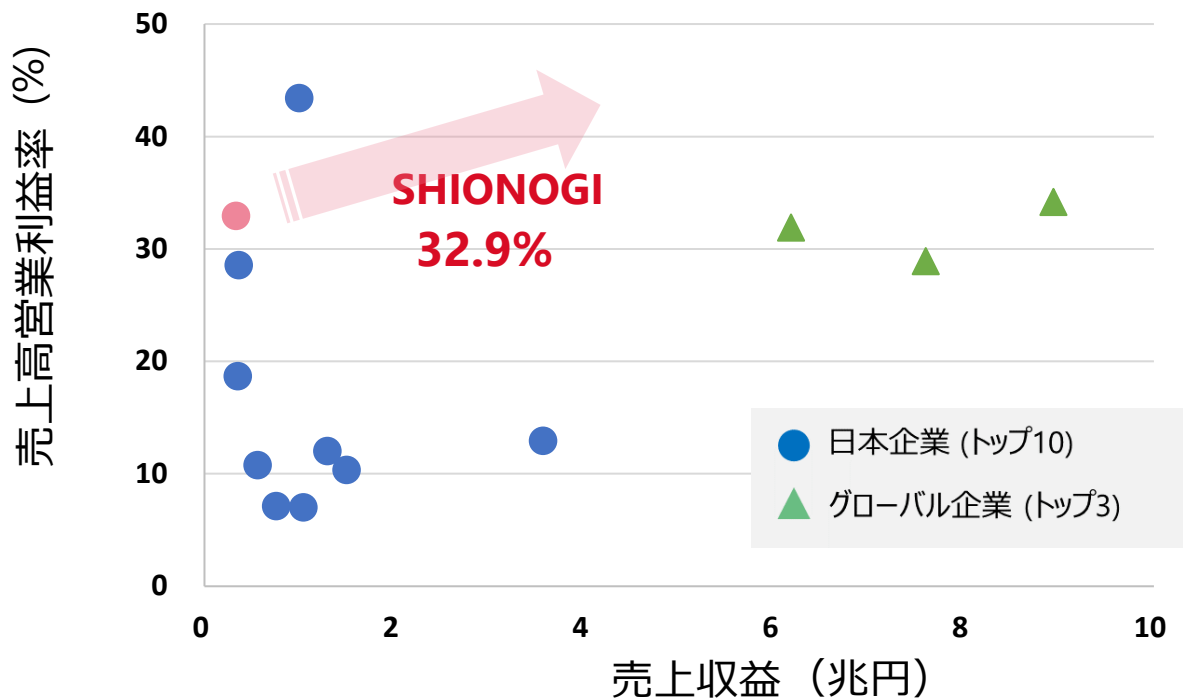
- Shionogi Inc.、Shionogi B.V.、平安塩野義、Taiwan Shionogi等による医薬品販売

SHIONOGIの売上高営業利益率

2020年度の産業別売上高営業利益率*



主な製薬企業の売上高営業利益率**



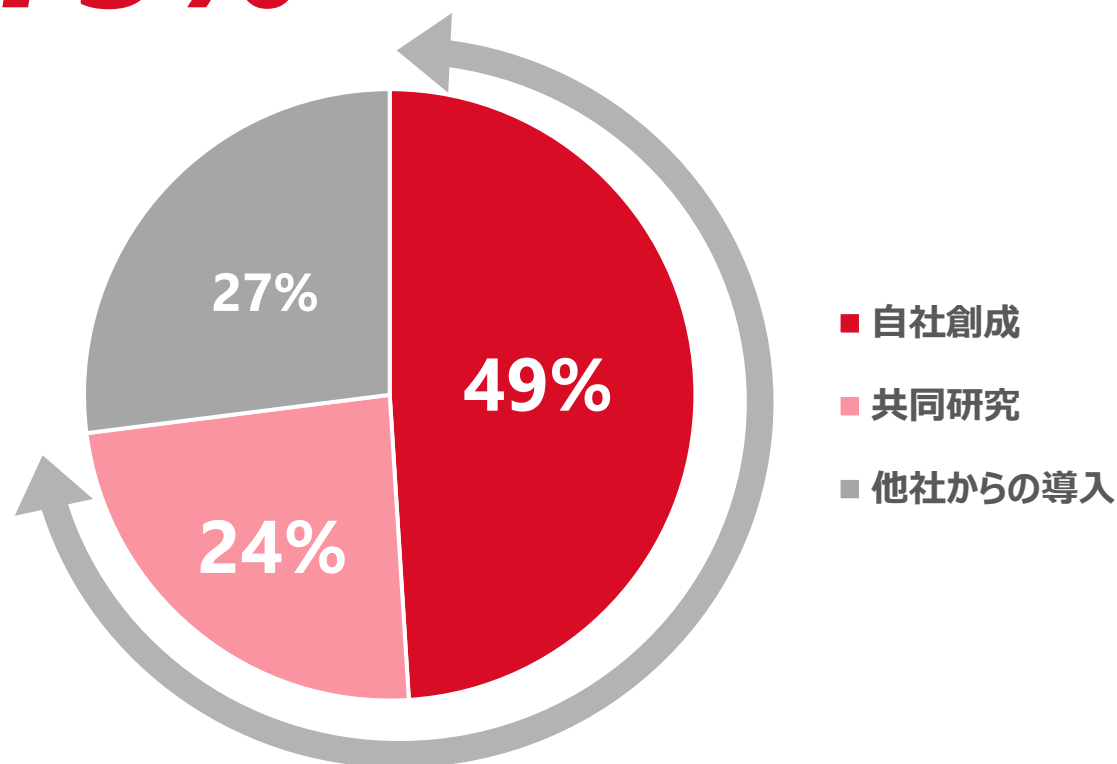
効率よく稼ぐことができる、世界レベルで見ても特徴がある企業

SHIONOGIの強み① イノベーション創出力

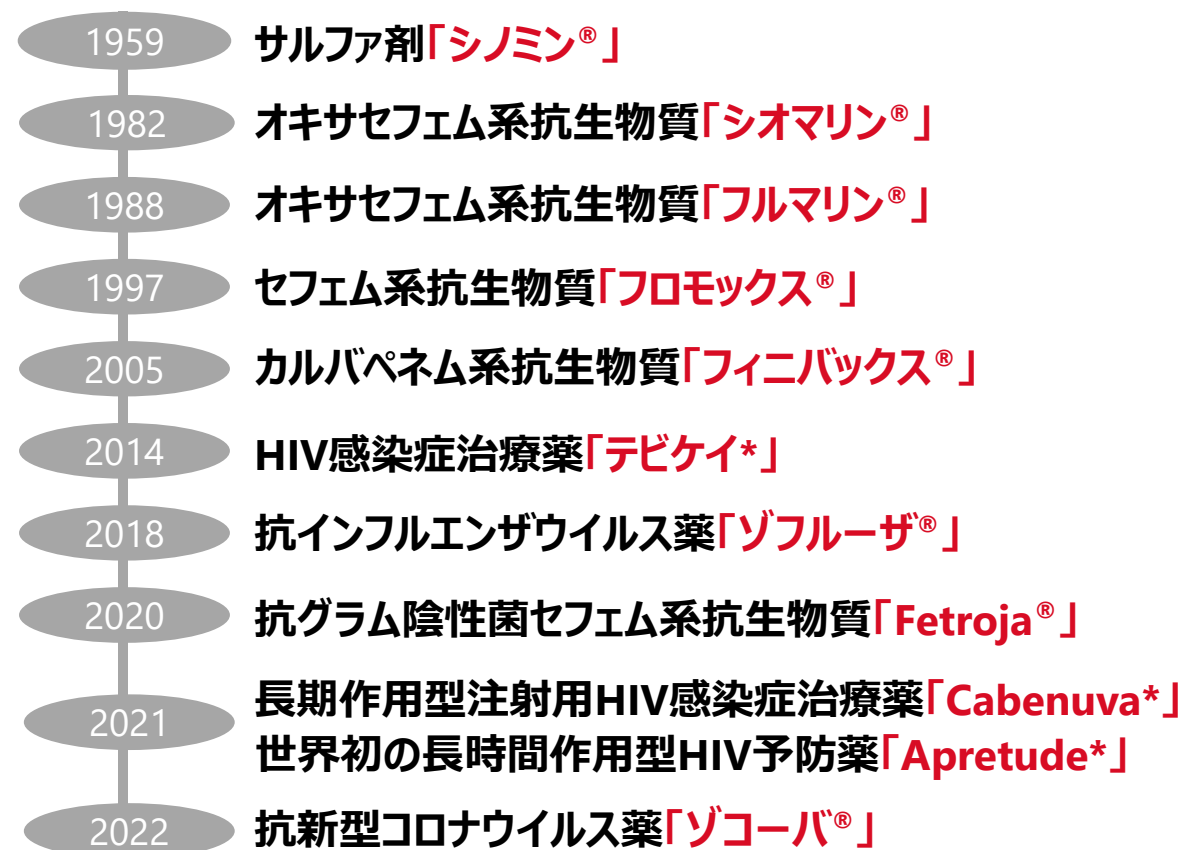
■ 自社創薬比率(2022年3月時点)

73%

一般的な製薬企業の自社創薬比率は
20-30%と言われている



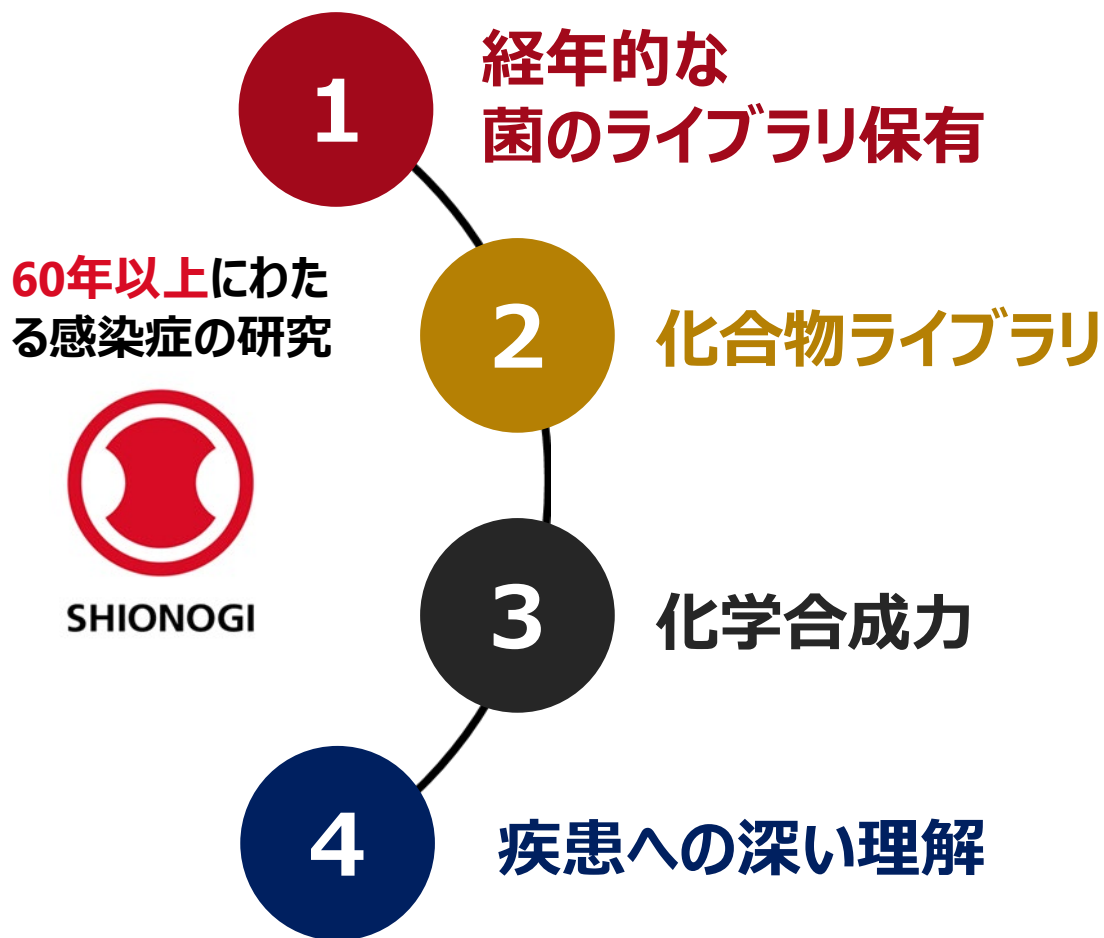
■ 自社創薬による主な感染症薬



60年以上にわたり数々の感染症治療薬を創出

SHIONOGIの強み② 感染症のノウハウ

感染症研究の4つの強み



臨床で課題となる病原体の取得、構築

感染症に関する長い研究活動において培われた化合物ライブラリ

ゾフルーザ®やデビケイ®などを合成した技術力や情報の蓄積

蓄積された感染症に対する知見

感染症薬創製プラットフォームを構築

感染症領域に研究開発費の過半を投入*し、製品・開発品を連続的に創出

感染症ビジネスを構築する3つの柱

慢性感染症

(三大感染症：HIV、マラリア、結核/非結核性抗酸菌、等)



中長期的に安定した収益を得るモデルの構築

ワクチン

(COVID-19、インフルエンザ、等)



急性感染症

(COVID-19、インフルエンザ、RSウイルス、等)



プッシュ型/プル型のインセンティブの活用などにより、投資を回収できるビジネスモデルの構築

それぞれのビジネスモデルを確立し、
グローバルヘルスに貢献しながら持続的な成長を実現

アジェンダ

- 01 SHIONOGIとは？ P. 5
- 02 SHIONOGIのビジネスモデルと強み P. 11
- 03 COVID-19への取り組み P. 17**
- 04 株主還元方針 P. 27

社会に必要とされる企業として

**SHIONOGIは“感染症の脅威からの解放”を
マテリアリティに掲げる感染症のリーディングカンパニー**

**2020年からCOVID-19の早期終息に
全社を挙げて“最優先”で取り組んできた**

ワクチン、治療薬の研究開発に大胆なリソースシフト

**COVID-19による後遺症など今後の課題解決に向けて、
SHIONOGIは引き続き注力していく**

COVID-19の早期終息に向けたSHIONOGIの取り組み

流行予測



- ウイルスの侵入と発生の傾向を早期に検出する下水モニタリングサービス

予防



- **組み換えタンパクワクチン(S-268019)の開発**

診断



- 抗原検査キット

治療



- **新規抗ウイルス薬
ゾコーバ®の開発**

重症化抑制



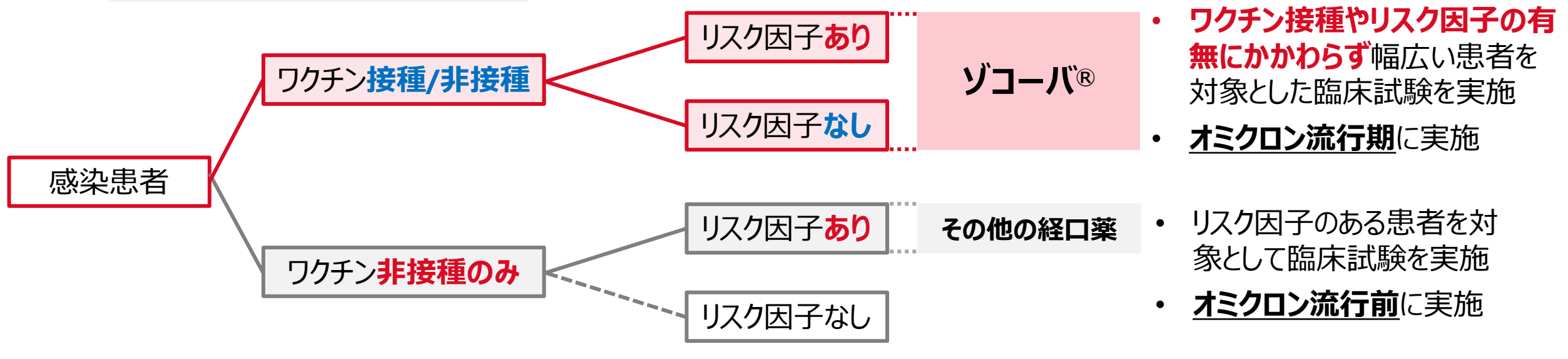
- 重症化抑制薬
asapiprantに関する外部連携

COVID-19のトータルケアの観点で
幅広い医療ソリューションの提供を目指す

ゾコーバ®が緊急承認制度に基づく製造販売承認を取得

- ・ オミクロン株に特徴的な5症状が消失するまでの時間をプラセボに対して有意に短縮
- ・ 投与4日目におけるウイルスRNA量 を有意に減少させ、抗ウイルス効果を確認

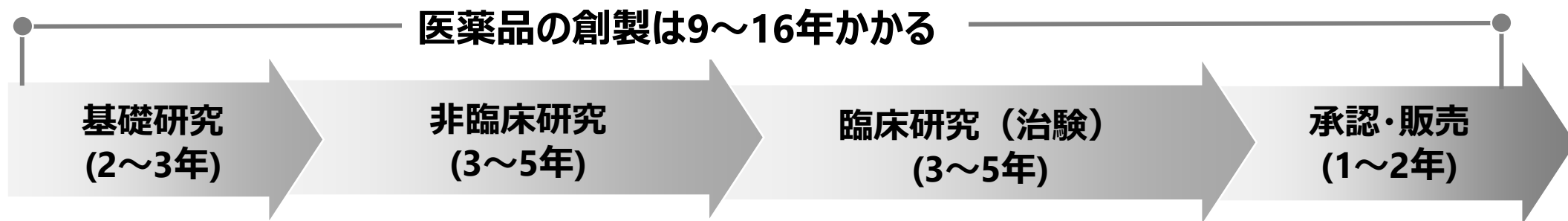
COVID-19治療薬の 臨床試験における対象患者



2022年11月23日より、全国の医療機関への供給を開始

ゾコーバ®の短期間における創製

従来



外部パートナーとの連携による強みの融合とSHIONOGI独自の創薬プラットフォームを軸に
異次元のスピードで研究開発や生産体制を構築

今回

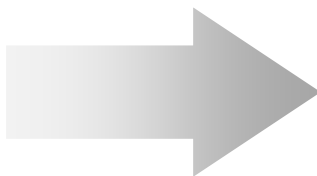


約9ヶ月 約1年4ヶ月

プロジェクト発足から
約2年で国内緊急承認を取得

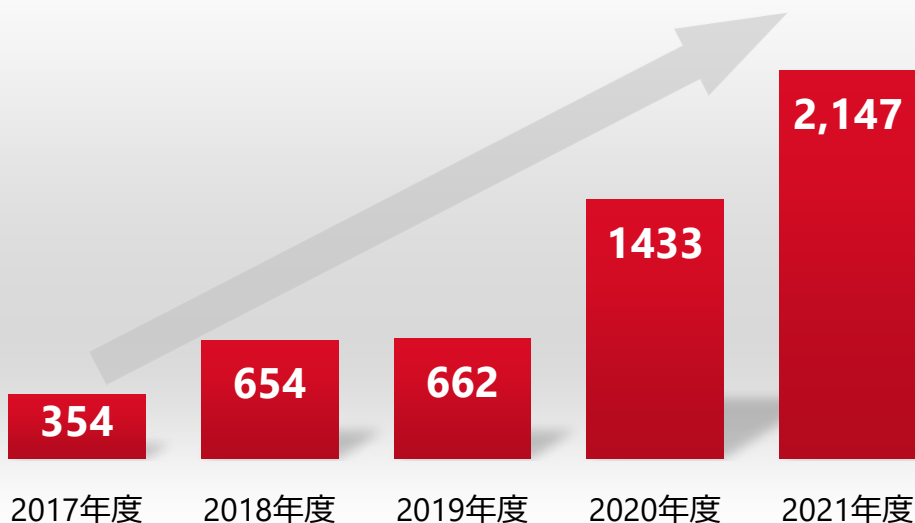
国産のコロナ治療薬への期待

コロナ禍以降、
SHIONOGIに注目が集まる



2022年11月22日夜
ゾコーバ®の緊急承認後・・・

各年度の記事掲載数



2日で**100件**を超える掲載を記録

産経、朝日、読売、毎日、日経 ...

当日中に複数メディアで放映

News23、NHK、TBS (NEWS DIG)、
FNNプライムオンライン、ntv、MBSニュース、
TVO テレビ大阪 ...

国民のSHIONOGI、そしてゾコーバ®への注目度はかなり高い

ゾコーバ®による社会の正常化を目指して

ゾコーバ®は風邪薬ではなく抗ウイルス薬（いち早く体内のウイルス量を下げることができる）

- ウイルスが体内で最大量に達する前に服用して**増殖を著しく抑え、症状を改善**
- 周囲に感染させるおそれのある**ウイルスの排出を抑える**
- インフルエンザ感染のように抗ウイルス薬によって、**早期に職場・学校へ復帰できる社会へ**



COVID-19に対して新たな治療選択肢を提供し、社会の正常化に貢献

ゾコーバ®の海外実用化に向けて

- 2022年11月22日緊急承認
- 国内で流通し、2万人以上に投与*
- 臨床試験と同様の安全性を確認

日本における緊急承認

- **中国で製造販売承認申請を準備中**
 - 現地企業と流通・販売体制を構築
 - 現地での生産体制を構築
- **韓国で製造販売承認申請を実施**

アジアへの展開

- 複数のグローバル臨床試験を実施中
- Long COVIDのリスク低減効果および有効性検討

グローバルへの展開

MPP**を介した
117の低中所得国への供給
- 売上に対するロイヤリティの受領を放棄

日本における緊急承認を皮切りに、
2023年はアジア、そして世界へ展開する

純国産ワクチン*の開発

■ 純国産ワクチン開発の意義

- 純国産ワクチンは、安全保障の観点からも極めて重要
 - 自国で迅速にワクチンの研究・開発・生産が出来る体制の構築
 - 日本で発生するかもしれない変異株への対応、将来のパンデミックへの備え

■ 組み換えタンパクワクチン（S-268019）の開発

- 既に実用化された実績のある技術をもとにしたワクチン
 - グループ会社のUMNファーマが有する技術を活用した「組み換えタンパクワクチン」
- 国内で実施した5つの臨床試験での良好な結果

UMNファーマ



2022年11月24日 国内における製造販売承認申請を実施

SHIONOGIを取り巻く現状と将来への展望

展望

コロナ禍の学びを持続可能な社会貢献へ

- ・ “グローバルに展開”できる事業基盤の構築
- ・ 本格参入のワクチン事業のさらなる強化・拡大
- ・ 持続可能な感染症ビジネスモデルの構築

現状

パンデミックという特別な環境での学び

- ・ 異次元のスピードで研究開発や生産を推進
- ・ 感染症における自社の“強みの再認識”
- ・ 持続可能な感染症ビジネスモデルの構築の必要性

Transform

感染症のリーディングカンパニーとしての強みを磨き続け、
自社でグローバルに貢献できる企業へ

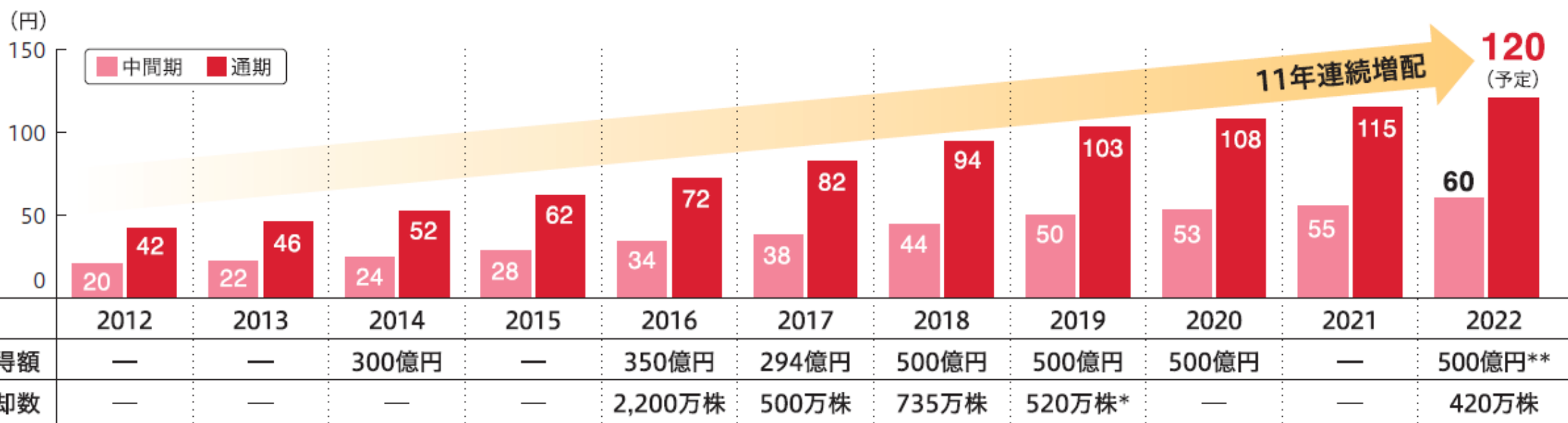
アジェンダ

- 01 SHIONOGIとは？ P. 5
- 02 SHIONOGIのビジネスモデルと強み P. 11
- 03 COVID-19への取り組み P. 17
- 04 株主還元方針 P. 27**

配当金と自己株式の取得・消却

- ・ 今年度の年間配当は120円、11年連続の増配を予定
- ・ 500億円を上限とする自己株式の取得および420万株の自己株式の消却

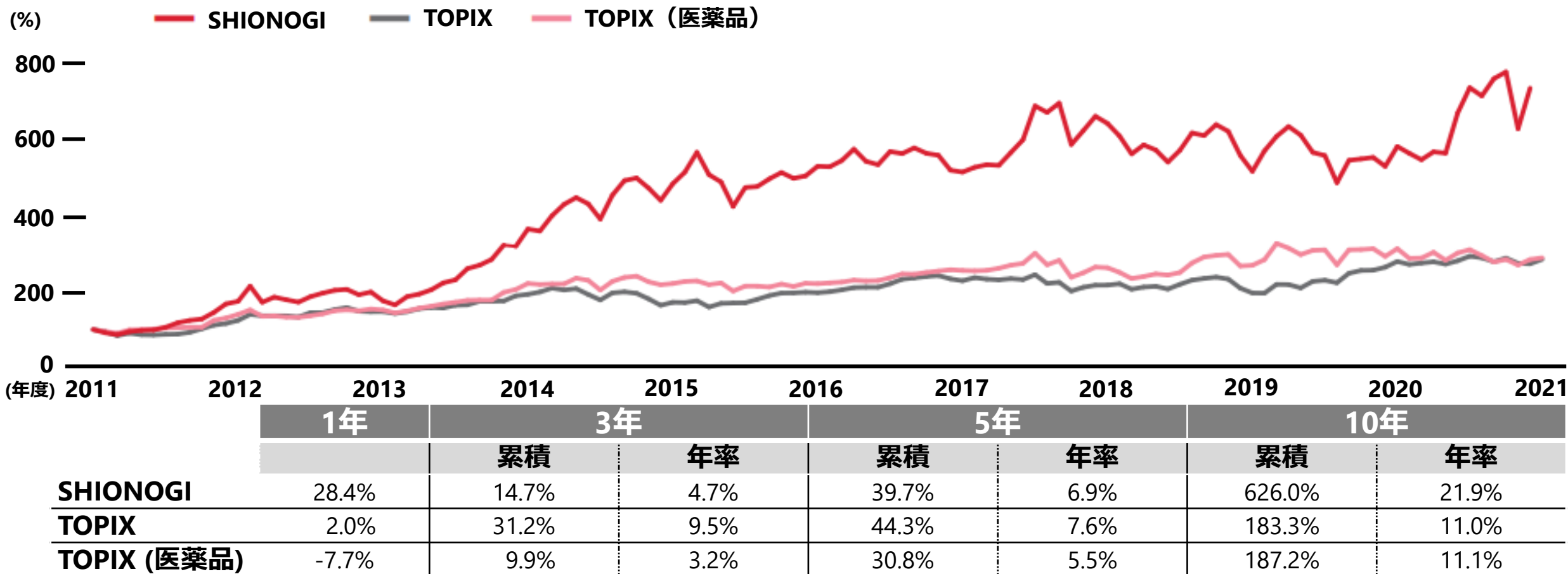
1株当たりの年間配当金



株主の皆さまとともに成長を実感していただける株主還元施策

株主リターンの増大

長期保有の株主の皆さまに、高いトータル・シェアホルダー・リターン*





あしたの感染症と、 たたかっている。

感染症がこの世からなくなることはない。

パンデミックも、きっとまた起こる。

だからこそ、SHIONOGIは逃げずに向き合い続けます。

その時私たちの創るワクチンが、治療薬が、
強く、強く、ひとつでも多くのいのちを守れるように。

薬ができることの、その先へ。



SHIONOGI



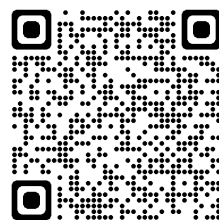
ご紹介：SNS公式アカウントと個人投資家向けIRサイト

報道関係者や投資家、広く一般の方に向けて、ソーシャルメディアをはじめとする多様なツールを活用した積極的な情報発信に注力しています



SHIONOGI

IRサイト
個人投資家の皆さまへ



YouTube
SHIONOGI



Twitter
SHIONOGI / @SHIONOGI_JP



YouTube
シオノギカナデ
/ Shionogi Kanade



Instagram
SHIONOGI / @shionogi_official



有益な情報をお届けしています。
アカウントをお持ちの方はぜひご覧ください。

Appendix

今後のパイプラインのイベント 1/2

2022年10月12日現在 全てのイベントが記載されてはいません

プロジェクト	対象疾患	Stage	FY2022 3Q-4Q	FY2023	FY2024
Olorofim (F901318)	侵襲性アスペルギルス症	Phase 2b、 Phase 3	★ Ph2b中間速報 (3Q)		Ph3登録完了 (4Q) ★
S-337395	RSウイルス感染症	非臨床試験		● Ph1開始 (1Q)	
S-365598 (HIVフランチャイズ、アウトライセンス)	HIV感染症	非臨床試験	● Ph1開始 (3Q)		
Resiniferatoxin	変形性膝関節症に伴う疼痛	Phase 3			Ph3速報 (2Q) ★ ◆ 申請 (3Q)
Zatolmilast (BPN14770)	①脆弱X症候群 ②アルツハイマー型認知症	①Phase 2/3 ②Phase 2	①	★ Ph2b3速報 (4Q)	
Zulanolone (S-812217)	うつ病・うつ状態	Phase 3		Ph3速報 (3Q) ★ ◆ 申請 (4Q)	
S-151128	疼痛	非臨床試験		● Ph1開始 (4Q)	

● 試験開始 ★ 結果速報入手時期（開示時期は別途検討） ◆ 申請時期

今後のパイプラインのイベント 2/2

2022年10月12日現在 全てのイベントが記載されてはいません

プロジェクト	対象疾患	Stage	FY2022 3Q-4Q	FY2023	FY2024
レダセムチド (S-005151)	①栄養障害型表皮水疱症 ②急性期脳梗塞 ③変形性膝関節症 ④慢性肝疾患 ⑤心筋症	①追加試験実施中 ②Phase 3試験準備中 ③④医師主導治験実施中 ⑤医師主導治験計画中	① ② ⑤	Ph3開始予定 (4Q) Ph2検討中 (2Q)	申請 (3Q)
S-309309	肥満症	Phase 1	Ph1速報 (3Q) ★	Ph2開始 (4Q) ★	Ph2速報 (3Q) ★
S-531011	固形がん	Phase 1b/2			Ph2開始 (4Q)
S-770108	特発性肺線維症	Phase 1		Ph2開始 (1Q)	

● 試験開始 ★ 結果速報入手時期（開示時期は別途検討） ◆ 申請時期

開発パイプラインの状況_感染症

2022年度 3Q決算
資料の再掲

2023年1月30日現在

非臨床

Phase 1

Phase 2

Phase 3

申請

S-872600

インフルエンザの予防ワクチン
(経鼻)

S-540956

核酸アジュバント

S-875670

COVID-19の予防ワクチン
(経鼻)

S-337395

RSウイルス感染症

S-554110

非結核性抗酸菌感染症

S-892216

COVID-19の治療薬



: グローバル開発

*,*3 Phase 2/3、Phase 3実施中

S-217622*

[エンシトレビル]
COVID-19の治療

S-268019

COVID-19の予防ワクチン
(筋注)

S-268019

COVID-19の予防ワクチン
(青少年・学童)

セフィデロコル

好気性グラム陰性菌感染症
(小児)

F901318

侵襲性アスペルギルス症

S-217622*2

[エンシトレビル]
COVID-19の治療

*2 韓国

S-268019*3

COVID-19の予防ワクチン
(筋注)

セフィデロコル*4

各種感染症

*4 日本・台湾

ゾフルーザ®

インフルエンザウイルス感染症
(顆粒剤、20kg未満)

ステージ変更 (2022年10月31日からの変更点)

S-217622(COVID-19の治療) → 日本: 緊急承認、韓国: 申請

S-268019 (COVID-19の予防ワクチン) → 申請

セフィデロコル (各種感染症) → 台湾: 申請

S-365598 (HIV感染症) → Phase1開始



アウトライセンス

S-365598

HIV感染症

S-555739

[asapiprant]

COVID-19の重症化抑制

Xofluza®

インフルエンザウイルス感染症
(小児、1歳未満)

Xofluza®

インフルエンザウイルス感染症
(伝播抑制)

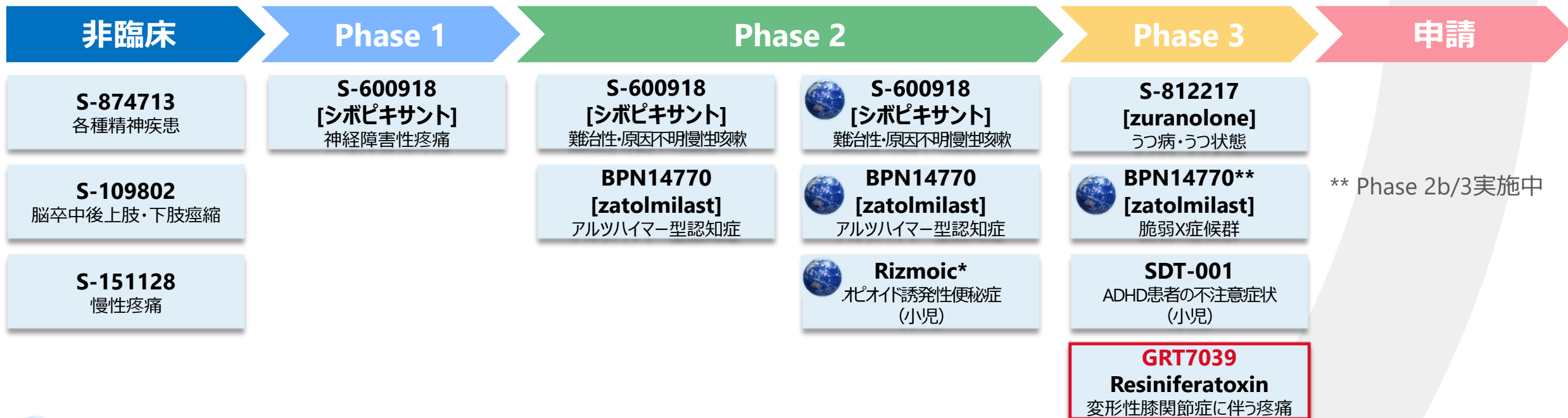
Xofluza® (米国)

インフルエンザウイルス感染症
(小児、1歳以上)

開発パイプラインの状況_精神・神経、疼痛

2022年度 3Q決算
資料の再掲

2023年1月30日現在



 : グローバル開発

開発No.の追加 (2022年10月31日からの変更点)

Resiniferatoxin (GRT7039)

アウトライセン

S-0373
[ロバチレリン]
脊髄小脳変性症

2023年1月30日現在

開発パイプラインの状況_新たな成長領域

